

別紙添付資料（１）（第１号議案）

令和７年度 事業報告

令和７年度実施計画に基づき、本部、各支所及び関係者の協力と行政当局のご指導、（公社）日本食品衛生協会の支援等により諸事業を実施することができました。

１ 庶務報告

- （１） 役 員 ： 会長１名、副会長２名（会計理事１名兼務）、専務理事１名、
常務理事４名、理事９名（理事合計１７名）、監事２名
- （２） 支所数 ： ７支所（７区に１支所ずつ）
- （３） 会員数 ： ５，０１６名（令和８年４月１日）

２ 事業報告

（１）食品衛生指導員による指導事業

① 食品衛生指導員による巡回指導事業

（公社）日本食品衛生協会が定めた重点指導事項である『H A C C Pの考え方に基づく衛生管理の定着と振り返り』を指導項目の中心として巡回指導を行うとともに、“H A C C Pの考え方を取り入れた衛生管理”、“ノロウィルスによる食中毒予防”、“手洗いの手順”等のチラシ・ポスターによる情報提供と巡回指導に取り組みました。

令和７年度 食品衛生指導員巡回指導状況

支所名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
延指導員数	296	404	182	191	263	177	255	1,768
延巡回施設数	821	1116	683	351	310	852	548	4,681

食品衛生指導員総数：１２９名

②「食の安心・安全・五つ星事業」の推進

食品衛生指導員の巡回指導活動を通して、五つ星事業に参加している施設に対し、五つの食品衛生管理項目（従事者の健康管理、食品衛生管理記録、講習会の受講伝達、衛生害虫駆除対策、食品賠償保険加入）の実施状況の確認を行いました。

令和7年度 五つ星認定施設数

支所名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
新規	—	—	—	—	—	—	—	0
継続	3	5	3	2	1	7	0	21

③A T P簡易検査機器を用いた施設指導

食中毒の起こりやすい8月から9月にかけて、各支所の食品衛生指導員が営業中の施設に立ち入り、まな板・冷蔵庫の取手・手指等の洗浄度をA T P検査で確認し、結果に基づく指導を行いました。A T P検査は検査結果が瞬時に確認できますので、即時的啓発効果があります。

今年度は、各区5施設、合計35施設の140件について洗浄度を調査しました。

令和7年度 A T Pによる簡易検査実績

支所名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
検査実施日	7/29, 30	8/4	8/5	8/20	9/10	8/18	8/27	
検査施設数	5	5	5	5	5	5	5	35
検査件数	20	20	20	20	20	20	20	140

- ・検査項目：ルシパックペンを用いた拭き取り検査、ルミテスターによるA T Pの測定
- ・検査箇所：まな板、冷蔵庫の取手(裏側)、手指（洗浄前&洗浄後）の4箇所

（2）食品衛生に関する人材育成事業

① 食品衛生責任者養成講習会事業

食品衛生責任者の資格取得認定講習会を7区の7会場で合計12回実施し、623名に修了証書を交付しました。各支所別の修了者数は次表のとおりです。

また、従来の集合型講習会と並行して「e ラーニング型講習会（オンラインによる受講）」（修了者数：620 名）を実施しました。

令和 7 年度 修了者数

（単位：名）

支所名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
1 回目	53	56	39	44	52	56	72	
2 回目	56		37	43	53		62	
合計修了者数	109	56	76	87	105	56	134	623

② 食品衛生指導員研修会

食品衛生指導員の資質を向上させ、活動を充実させるために、毎年指導員研修会を実施しています。法人主催（当協会）事業は、2 回に分けて実施しました。

研修会参加者数は、次表のとおり延 45 名でした。

令和 7 年度指導員研修会 参加者数

（単位：名）

開催日	講習会名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
7/7	令和 7 年度 指導員研修会	2	14	5		1			22
7/10	令和 7 年度 指導員研修会				0	4	11	8	23
合 計		2	14	5	0	5	11	8	45

③ 食品衛生指導員養成講習会開催

令和 7 年 10 月 1 日、27 日の 2 日間にて規程カリキュラムに沿って講習会を開催。受講者 5 名が新指導員と認定されました。

（門司支所：2 名、小倉北支所：2 名、若松支所：1 名 修了）

④調理師試験のための受験準備講習事業

調理師試験の受験者を支援するため、職業訓練法人北九州地区職業訓練協会と共催して、下記の通り試験に合格するための準備講習会を推奨しました。

受講者数：12 名

講習会日：8 月 20 日 ～ 10 月 1 日 7 日間（延 39 時間）

⑤ ふぐ処理師受験準備講習会事業

（公社）福岡県食品衛生協会が主催する講習会の受講案内を行いました。

令和 7 年度も、昨年度同様、講習会の案内のみにとどまり、受付は直接福岡県が対応となりました。

（3）食品衛生思想の普及啓発事業

① 食品衛生キャンペーン事業

消費者に安全安心な食品を提供するため、食品事業者に義務化された「HACCP に沿った衛生管理」を関係業者へ普及させるべく「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」に沿った講習会を開催。各支所指導員による一般飲食店等に HACCP フォローアップ事業を展開。個別に巡回時に衛生管理の徹底に努めました。さらに手洗いマイスターによる「手洗い教室」を開催。地域に密着した活動を目指しました。

【令和 7 年度手洗い教室】

開催日：R7. 11. 12 場所：小倉南区幼稚園「フレンズ幼稚園」対象者：年少クラス児童
参加人数：105 名

開催日：R7. 11. 21 場所：門司区大里東市民センター 対象者：子ども食堂利用者
参加人数：28 名

【令和 7 年度 HACCP 講習会】（スナック BAR 向けの方対象） 参加者数 合計 32 名

開催日：R8. 1. 27 場所：門司生涯学習センター 参加人数：15 名（内 行政 3 名）

開催日：R8. 1. 28 場所：北九州市総合保健福祉センター参加人数：17 名（内 行政 5 名）

② 「食品衛生月間」の事業

全国一斉食品衛生月間の 8 月 1 日（食品衛生の日）にちなんで、北九州市と共催で各支所単位での勉強会や手洗い教室を開催しました。（参照 1）

指導員参加者数は延べ 225 名でした。

令和 7 年度食品衛生月間事業のまとめ

支所名	実施日時	実施場所	実施内容	指導員	活動参加者(指導員含む)
門司	7 月 29～30 日	門司区飲食店 5 店舗	手洗い教室：手洗いマイスター 2 名対象：飲食店従業員	2	26
	8 月 27 日	門司区役所 3 階 大会議室	食中毒予防講習会（講師：門司区役所生活衛生担当 濱田係長 対象：指導員、五つ星事業参加店）	9	12
	8 月 27 日	門司区役所 3 階 大会議室	手洗い教室：手洗いマイスター 2 名対象：飲食店従業員	11	16
	8 月 27 日	門司区栄町銀天街	街頭啓発ウェットティッシュ配布（50）対象：市民	5	5
	7 月 29 日～30 日	門司区飲食店	A T P 検査指導（5 施設）	5	27
小倉北	8 月 4 日	小倉北飲食店 5 店舗	ATP 検査指導（5 施設）	5	5
	8 月 26 日	北九州市総合保健福祉センター	食中毒予防講習会（講師：保健所東部生活衛生課食品衛生第一係 小河也恵）	17	17
	8 月 26 日	北九州市総合保健福祉センター	手洗い教室 実習（手洗いマイスター：4 指導員：13）	17	17
小倉南	8 月 5 日	小倉南区飲食店	A T P 検査指導（5 施設）	4	4
	8 月 5 日	小倉南区飲食店(ATP 検査同様)	手洗い教室：手洗いマイスター 2 名対象：飲食店従業員	3	13

	8 月 22 日	小倉南生涯学習センター	食中毒予防講習会（講師：小倉南区役所生活衛生 原田係長 対象：飲食店従業員等）	5	12
	9 月 3 日～4 日	小倉南区内保育所	手洗い教室 小倉南区幼稚園「フレンズ幼稚園」にて。（参加者：2 歳児、年中園児 160 名、指導員 11 名）	11	171
若松	8 月 8 日	若松区役所内 指導室 2	食中毒予防講習会（講師：若松区役所生活衛生担当 村井係長、受講者：指導員）	7	7
	8 月 8 日	若松区役所内 指導室 2	手洗い教室：対象：指導員及び飲食店従業員	7	10
	8 月 20 日	若松区飲食店	ATP 検査指導（5 施設）	5	5
八幡東	7 月 30 日	八幡東区役所東別館 第 3 会議室	食中毒予防講習会（講師：八幡東区役所保健福祉課 阿部係長 対象：指導員）	6	6
	7 月 30 日	八幡東区役所東別館 第 3 会議室	手洗い教室（講師：八幡東区役所保健福祉課 阿部係長 対象：指導員 6 名）	6	6
	7 月 30 日	八幡東区役所・中央町商店街	街頭啓発ウェットティッシュ配布（145 個）	6	7
	9 月 10 日	八幡東区飲食店	ATP 検査指導（5 施設）	6	6
八幡西	7 月 26 日、 8 月 1 日、25 日	折尾神楽・夏越祭、西部生活衛生課窓口、黒崎商店街	街頭啓発ウェットティッシュ配布（400 個）	15	15
	8 月 5 日	折尾料飲組合事務所	手洗い教室：手洗いマイスター 3 名 対象：指導員：9 名、料飲組合員 14 名	12	26
	8 月 18 日	八幡中央料飲組合施設	ATP 検査指導（5 施設）	4	4
	8 月 25 日	八幡西区役所 604 会議室	食中毒予防講習会（講師：西部生活衛生課 食品衛生係 野口係長、受講者：指導員）	14	14

戸畑	8月6日	戸畑区役所内 指導室A	食中毒予防及びHACCP講習会（講師：戸畑区役所生活衛生担当 高嶋係長、受講者：指導員11名）	11	11
	8月6日	戸畑区役所内 指導室A	手洗い教室 実習 手洗いマイスター2名、対象：指導員9名）	11	11
	8月6日	中本町、浅生地区・旭町地区・中原地区	街頭啓発食中毒関連チラシ配布及びウェットティッシュ配布（200個）	13	13
	8月26日	イオン戸畑2階 「よいとさ広場」	手洗い教室：「野菜一皿運動」戸畑区役所保健福祉課主催のイベント共催参加（手洗いマイスター2名、対象：イオン戸畑一般のお客様148名）	4	152
	8月27日	戸畑区飲食店	A T P検査指導（5施設）	4	4

合計 225 622

食中毒予防啓発は、指導員の巡回指導、A T P検査時にて食中毒予防チラシ、啓発標語を印刷したウェットティッシュ等を合計1,600個配布、さらにお店での告知にて食中毒予防に留意するよう啓発しました。

【食中毒予防啓発】

（単位：名）

支 所 名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
食品衛生月間事業参加者数	32	39	23	19	24	45	43	225
各区啓発事業開催日	8/27	8/26	8/22	8/8	7/30	7/26. 8/1、8/25	8/6	—
配布数	200	200	200	200	200	400	200	1,600

③ ノロウイルス食中毒・感染症の予防啓発事業

近年、冬の食中毒の代表的なものとしてノロウイルスによる食中毒が減少すること

なく毎年上位の患者数をしめしております。そのため汚染物処理や適切な手洗い方法などの実演を含めた感染症予防知識の普及にも取り組んでおります。

全国一斉予防強化期間に啓発事業を2回開催し、参加者は計113名でした。

開催日	講習会の名称	開催場所	人 数	参 加 者
11/5	ノロウイルス食中毒予防講習会	総合保健福祉センター	60 名	食品営業関係者、 食品衛生指導員
11/18	ノロウイルス食中毒予防講習会	ウェル戸畑多目的ホール	53 名	食品営業事業者、 食品衛生指導員

④ 北九州市主催の食品安全シンポジウムを活用した食品衛生思想の普及活動

開催日：令和8年1月30日（金）13時～16時

場所：戸畑市民会館中ホール

テーマ：「毎日の食の安全を守るには？」

上記シンポジウムが開催され指導員の方々にも参加いただきました。

当協会は、食品衛生思想の普及・向上のための公益事業と位置付けて、来年度にもつなげていきたいと思っております。

食品安全シンポジウム 参加者数 合計 32名(単位：名)

開催日	講習会名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
R8. 1/30	シンポジウム (行政)	0	10	4	0	3	7	8	32

⑤北九食協ニュース発行

今年度は、年間3回を発行し、指導員巡回時のツール及び責任者養成講習会での配布にて食品衛生啓発に努めました。

(4) 食品衛生功労者、食品衛生優良施設表彰事業

永年、食品衛生思想の向上に尽力した功労者や食品衛生上の優良な施設管理者を表彰し、顕彰するために厚生労働省や（公社）日本食品衛生協会は、表彰規程を設けており、例年、当協会からも受賞候補者を推薦しています。

また、北九州市においても市長表彰、局長表彰、保健所長表彰規程があり、これらの候補者も推薦しています。当協会でも独自に会長表彰、支所長表彰制度を設けており、先ずは支所長表彰を行い、順次、上部の表彰者として推薦することとしています。これら受賞者を披露し、顕彰するために今年度は11月17日（月）北九州国際会議場メインホールにて表彰大会を開催しました。

受賞者は、他の模範でもあり尚一層の衛生向上に精進されることが期待されます。

令和7年度 実績：（公社）日本食品衛生協会表彰大会 受賞者数

表 彰 名	功 労 者	施 設	行政担当	食協・団体
厚生労働大臣表彰	2		—	—
厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰	1	—	—	—
（公社）日本食品衛生協会会長表彰	3	1	2	—
（公社）日本食品衛生協会理事長表彰	2	—	—	—

令和7年度 実績：（一社）北九州市食品衛生協会表彰大会 受賞者数

表 彰 名	功 労 者	施 設	食品衛生指導員
北九州市長表彰	1	5	—
保健福祉局長感謝状	—	—	3
北九州市保健所長表彰	2	—	—
（一社）北九州市食品衛生協会会長表彰	—	19	—
（一社）北九州市食品衛生協会支所長表彰	—	31	—

（選定基準）

- ① 被表彰者、被表彰施設に関する表彰基準を設け、会員・非会員を問わず表彰の対象としています。
- ② 選考にあたっては、営業施設を監視指導している保健所の食品衛生監視員や巡回指導している食品衛生指導員の助言・推薦を得て行っています。
さらに、優良施設については、食品衛生監視員による「監視票の評価点」が高得点という条件が付されており、会員・非会員を問わず推薦対象としています。

(5) 令和7年度 第66回九州ブロック大会及び連絡協議会開催

令和7年7月3日、第66回公益社団法人日本食品衛生協会九州ブロック大会が福岡県福岡市にて開催されました。

ちなみに令和8年度は宮崎県にて開催予定です。

(6) 営業者に対する許可更新事務の支援と賠償共済加入促進事業等

営業許可期限が近づいた時期に、該当する営業者にハガキまたは封書で通知をし、許可更新事務が円滑に行えるように支援しております。

また、食品事故発生時の賠償金を補填し、安定経営を支える「食品営業賠償共済」の加入を積極的に勧誘しました。

特に、食中毒事件以外の被害補償例が多発していることから、施設賠償ができる「あんしんフード君」の加入を勧めています。

その他、各種免許申請等に必要な福岡県領収証紙の斡旋販売を行い、市民の方々に便宜を図っています。